

事業名	女性活躍推進事業			
事業の趣旨・目的	<p>不安や困難を抱える女性の居場所づくりやピアサポート場の提供などの事業を民間団体へ委託することで、誰にも相談することができず孤立している人を、相談機関や関係団体の支援につなげる。 生理用品等の入手が困難な女性や女の子に対し、生理用品を提供する機会を作ることで、困りごとやその背景に寄り添い、必要な支援へとつなげる。</p>			
事業目標・重要業績 評価指標 (KPI)		目標・KPI	目標値(時点)	現状値(時点)
	①令和7年度まで(第5次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	DVの相談窓口を知っている人の割合	60.0% (R3)	51.4% (R1)
	③事業目標(全体)	ピアサポートの場所を利用した女性の延べ人数(アウトプット)	1,000人 (R4)	497人 (R4.1月末現在)
	④事業KPI(全体)	ピアサポートの実施回数(アウトプット)	96回 (R4)	
事業内容	<p>①つながりサポート事業 【R3年度から実施し、継続する取り組み】 ・女性が気軽に立ち寄り、相談したりすることができる居場所を提供する。 ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催する。 ・生理用品の配布や通じて受け取る女性の背景に寄り添い、相談機関や関係団体(支援ネットワーク)の情報を提供し、支援につなげる。 ・SNS等を通じて、つながりサポート事業(ピアサポートや生理用品の配布)や相談機関等について周知する。</p> <p>【R4年度から加える新たな取り組み】 ・複雑困難な相談内容に専門の相談員が対応し、他の行政機関やNPO等関係団体の支援窓口へ同行するなど、連携して支援につなげる。 ・フードバンクや子ども食堂の運営団体等と連携し、その場で事業の周知や相談会、ワークショップを実施する定期イベント「つながりマルシェ」を開催する。</p>			
事業の実施により期待される効果	<p>・不安や困難を抱えながら支援につながっていない女性が必要な支援へとつながる。 ・女性がピアサポートを活用することにより、自分ひとりで困難や孤独を抱える必要がないことに気づくとともに、自分の経験や知恵を他の困っている人のために役立てることで、安心感や自己肯定感を得ることにつながる。 ・生理用品の配布をきっかけに、特に若年層の女性に対し、自身の体を大切にすることやパートナーとの対等な関係づくり、必要な社会資源とつながることの大切さについて啓発することができる。 ・委託する団体の主体的な活動が活発化し女性支援の必要性について市民への啓発や理解促進が図られる。</p>			
事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	<p>本事業の利用状況をもとに、必要とされる相談機関や関係団体との連携や支援策を検証するとともに、利用者の声を聞き取りながら、改善点や課題を整理する。</p>			